

第4号
(通巻25号)



賀茂県主だより

一般財団法人 賀茂県主同族会
〒603-8047
京都市北区上賀茂本山町339
賀茂別雷神社内

HP<http://www.kamoagatanushi.or.jp/>

発行人 岡本清孝

編集人 岡本清孝

～今号の目次～ P.1:「式年遷宮に備え」 P.2:「祖先祭開催」「遷宮大祭の報告」 P.3:
P.4:理事会よりの報告 ※この会報は、上記URLサイトからカラーでご覧頂けます。

第42回式年遷宮本遷宮・奉幣祭厳かに開催



天皇陛下の贈り物「御幣物」を唐櫃に納め神前に供す
平成27年10月16日（奉幣祭より） 写真 京都新聞同日々刊にて掲載

21年毎に開催される式年遷宮が、平成27年10月15日に正遷宮が、翌16日には奉幣祭が執り行われた。

正遷宮の式典は午後8時より祭礼の儀式に始まり、午後8時半には境内の明かりが一斉に消され、暗闇の中で権殿より本殿へと御霊のお渡りが行われた。

日中の暖かさとは一転、しっかりと冷え切る境内で、参列者は一層身が引き締まる思いで感激を新たにしました。

一夜明け、上賀茂の空は快晴に恵まれ、午前9時半に細殿の前に約800人の参列者集合。

午前10時より祭儀斎行。勅使が赤い紙に書かれた祭文を読み上げ、唐櫃に納められた天皇陛下からの御幣物を担いだ勅使の列が、二の鳥居をくぐって細殿に向かい、その後御幣物を本殿前に奉納した。

因みに御幣物は、五色の絹や木綿など最上級の反物が納められている。

遷宮祭の様子はテレビでも放映

奉幣祭終了後同日の夕刻と、11月23日（祭日）ABC朝日放送が「聖地・上賀茂神社」を紹介する番組を放映した。

10月16日の放送は、夕刻5時台のニュースワイド番組で、約5分間式年遷宮の様相を紹介。

11月23日の放送は1時間番組で、上賀茂神社の行事を、約1年余の間かけて録画取材をした内容を紹介。

これは神社の年中祭事を解説しながら、長年上賀茂神社を守ってきたのは「賀茂族」であったことに触れ、賀茂競馬、賀茂祭（葵祭）など一連の行事を賀茂族が協力していることを大きく取り上げ「賀茂族」の存在を広めてくれた。

平成27年11月14日 祖先祭開催 (遷宮大祭の為11月に)

翌日15日は遷宮奉賛事業として系図の一般公開を実施



祖先祭の式典は次のとおり行われた

- 9時30分 本殿参拝
引き続き記念撮影
10時20分 齋主入場 祭典
10時40分 会務報告
11時00分 特別講演
12時10分 直会
14時00分 散会

特別講演『平安京とカモ氏』の概要

講演 井上満郎先生
京都産業大学名誉教授
京都市歴史資料館館長

山城国風土記逸聞より

賀茂社の生い立ちについて「可茂の社」は賀茂建角身命は神倭石余比古の前に立ち、大倭の葛木山の峯に宿り、彼の地より山代の国岡田の賀茂に至り賜うた。という解説に始まり、三井の社(下鴨蓼倉町)即ち賀茂建角身命、丹波の伊可古夜日女、玉依日女三社の神の身坐すところ、即ち三身の社と号した由。

末尾のほうでは、京都における賀茂氏と秦氏との関係にもふれられた。

写真前列は年配者が大勢を示しているが、今回は若い方々の参加も目立ち、頼もしい様相が伺えた。

本年の祖先祭は10月29日(土曜日)に開催致します

平成28年度の年会費は3月31日までにお願ひします
一旦本年3月31日で締切ります

新法人に移行して1年9か月が経過しましたが、昨年末現在の会員数は313名となり、内訳は、系図会員が241名、家族会員45名、一般会員5名となり

更に未成年者登録が22名となります。
この結果本会の財政は収入が130万円、支出は約150万円が予測され、かなりの赤字が予測されます。
会員各位のご協力を願っております。

■ お問い合わせは山本宗尚理事まで。電子:study@kamoagatanushi.or.jp

賀茂競馬保存会報告

平成27年賀茂競馬総括会議 (議事録)

賀茂競馬保存会

日時： 平成27年7月19日 (日) 16:30～18:30

場所： 上賀茂神社第1応接室

出席： 今井副会長 (権宮司)、藤木理事 (権禰宜)、
鳥居理事 (権禰宜)、山本宗尚理事 (同族会)
安井監事 (同族会)、堀川副会長 (同族会)

今年度の賀茂競馬、並びに賀茂祭 (走馬、山駈け) について、同族会理事より作成の資料に基づき総括を行った。

賀茂競馬

- ・年々観客が増加しており、警備体制の強化が必要である。次年度は、神社、保存会と神社青年会等と警備の事前打ち合わせを実施する。
- ・事故防止の観点からは、すべて古儀に基づき儀式を催行するのかが再検討すべきでは、との意見があったので継続して検討することにする。
- ・落馬事故防止の対策として、初心者のお馬場での基礎練習の強化など指導者で対策を講じる。
- ・今年度は練習日に雨が多かった。練習機会の増加のためにも4月の曲水の宴当日も奥馬場での練習を可能にする。
- ・奥馬場の馬場状態改善に着手する。全体を一度にはできないので、水はけを改善するため北側の止め口より順次ズリを入れて整備する。
- ・木馬練習の場所として、①西側駐車場にテントを張る②庁ノ屋前の競馬当日倭文庄の馬小屋を早期に建築するなどの案があり、乗尻指導者で検討する。
- ・本馬場の埒の位置や舗設を図面に基づく指示として、事前に複数で確認を実施する。
- ・業者より借用の無線と神社所有の無線機とが周波数が異なり、交信がうまくいかなかったので、使用する機器または周波数を統一して情報共有をはかるようにする。
- ・稽古日を設定して、雨衣を用いて着装練習、指導を行う。所作の稽古日も設ける。
- ・その他として、同族会の観覧席をあらかじめ決めておき現場で混乱が生じないようにする。

賀茂祭

- ・賀茂祭祭頭の儀 (特に走馬・山駈け) における儀注書を作成する。山本宗尚理事作成のものをたたき台として検討する。
 - ・賀茂競馬保存会の活動を活性化するため、懸案となっている賛助会員 (ファン) づくりや会計処理の調整などを検討していくことを確認した。
- 総意として、課題や問題の一つ一つ解決していくことで、全体が向上していくので皆で知恵を出し合い、よりよい賀茂競馬、賀茂祭にしていくことを確認した。

以上
理事 堀川 潤 (保存会副会長)

遷宮記念講話より

昨年11月22日 (日)、遷宮大祭奉賛事業の一つとして上賀茂神社客殿において90名の参加者を迎え、賀茂県主同族会の市忠頭監事が「山城国風土記に見る賀茂伝承」と題して講演を行いました。

以下その内容を記載致します。

本日は伊藤尚治氏が代表の「京の社家を学ぶ会」の主催である。先年、祖先祭の講演でお話した、山城国風土記の内容であるが、今回は、葛城地方にも足を伸ばし、高鴨神社の鈴鹿宮司、鴨都波神社の松本宮司とお会いしてお話をうかがった。御歳神社や鴨山口神社、一言主神社、高天高原の高天彦神社 (葛城氏が奉斎) 等も訪問した。

別の日には、現木津川市加茂町にある岡田鴨神社を訪れ、禰宜の脇様に岡田鴨神社の旧地もご案内頂いた。ついでに、恭仁京大極殿跡・国分寺跡も訪問した。

次に賀茂川と桂川の合流点の訪れ、賀茂川の先に比叡山を遠望した。合流点の近くの久我神社 (伏見区久我) や乙訓の角宮神社 (別雷神の父神を祀る) も訪れた。近くは北区の久我神社 (賀茂建角身命を祀る) や下鴨の三井神社 (祖母神、神伊香古夜日女を祀る) も訪れた。

向日神社では、六人部宮司一家と歓談し、有益なお話をうかがった。これらの取材をもとに、神社の写真や、航空写真を多用し、話を楽しくすることに勤めた。賀茂別雷神社の田中宮司、藤木権禰宜、鴨都波神社の松本宮司、岡田鴨神社の脇禰宜にも参加して頂いた。地元関係者を含め、約90名の参加があり、大盛況であった。関係の皆様へ感謝致します。

一般財団法人 賀茂県主同族会監事
市 忠頭

第1期2年度会議開催報告

【平成27年】

理事会(3回)

第8回：新法人入会状況及び収支概算

4月4日 新会員名簿作成作業及び会員証発行方法
(日) 理事役割分担再編成
女性会員の役員登用策定

第9回：平成26年度事業及び決算報告

6月20日 会員名簿作成作業及び会員証発行の件
(土) 賀茂競馬・葵祭の総括
女性部会報告
系図展観の運営方法再検討

第10回：神社遷宮奉賛金残高支払に関する討議

10月4日 27年度上半期会計報告
(日) 賀茂祢宜神主系図 デジタル化及び公開事業報告
遷宮奉賛事業「系図展覧一般公開」策定
未入会会員へのアプローチ計画

常務理事会(6回)

:4/4(土)・5/24(日)・6/20(土)・7/11(土)・8/9(日)
11/21

評議員会 (2回)

5月24日(日) 定数未達の為報告会とする。

第5回：平成26年度の「事業報告・会計報告」

6月20日 評議員4名辞表確認及び候補者選定
(土) 会員規約の加入者資格に対し意見交換

第6回：第8回 理事会 議事録の検討

9月13日 同族会運営資金逼迫による基本財産一
(日) 部取り崩し案白紙撤回

11月8日(日) 定数未達の為報告会とする。

系図デジタル化・及び公開事業は終了しました

平成27年12月末をもって、公益財団法人図書館振興財団による助成事業「『賀茂祢宜神主系図』デジタル化および公開事業」は終了しました。

当初予定から一部変更があったものの、検索機能を付した賀茂系図デジタル画像のweb公開が実現し、学界に対しても口頭・論文を発表しました。

会員各位に対しては論文別刷の謹呈を以て報告とさせていただきます。

理事 山本宗尚

女性部会の発足

女性部会長 堀川三恵子

この度女性部会が発足いたしましたので紹介させていただきます。

数年前より、賀茂競馬の練習用の馬具の購入などに充てる為、本馬場での練習日や足汰式、競馬の当日、葵祭に協賛品の販売を行っています。

女性でも賀茂競馬のお役に立ちたいと販売や警備のお手伝いをしている賛同者が年々増えてまいりました。同族会の組織も新しくなり女性の会員も増えてきたことから、組織化してほしいとの要請が理事長よりありました。

このような経過をへて、今年4月に初会合を開き、正式に女性部会として発足しました。愛称は、上賀茂神社のご祭神のお母様にあやかり「玉依会」としましたが、再度部会の名称を考慮中です。

(目的) 同族会活動への積極的な参画

(活動内容)

- ・賀茂競馬の協賛物品販売活動
- ・賀茂競馬の警備、運営サポート
- ・系図展観のお手伝い
- ・祖先祭の運営要員

その他新事業に可能な範囲の協力

第17回 神山草叢清掃奉仕は休止に

遷宮大祭斎行など諸般の事情により、昨秋の清掃奉仕活動は一旦休止致しました。

今春の清掃活動は、未だ神社側との調整が確定致しておりません。結果は後日のお知らせです。

(一財)賀茂県主同族会 役員名簿

理事長 岡本 清孝 副理事長 岡本 光正
常務理事 山本 武久(庶務)、松田 一彦(会計)

理事 市 聡顕、岡本 修、西池俊二
堀川 潤、山本宗尚

監事 市 忠顕、戸田保輝

評議員長代行 岡本安正

評議員： 西池氏裕、西池成俊、西池申顕
藤木襄治、山本正信、市 芳明

一般財団法人賀茂県主同族会の運営は会費のみで運営致さねばなりません。皆様方のご理解とご協力を切望致します。

勿論寄付金は大歓迎です。

●これらのお問い合わせは
事務局(山本常務理事)宛にお願い致します。

☎075-791-6818

e-mail: info@kamoagatanushi.or.jp